

- ・リーダー式ケーシング回転掘削工法日歩掛りの審議
3. 「協会ニュース」編集分科会 1回 (継続)
平成16年11月26日
- ・協会ニュース編集計画決定
 - ・協会ニュース執筆担当者決定

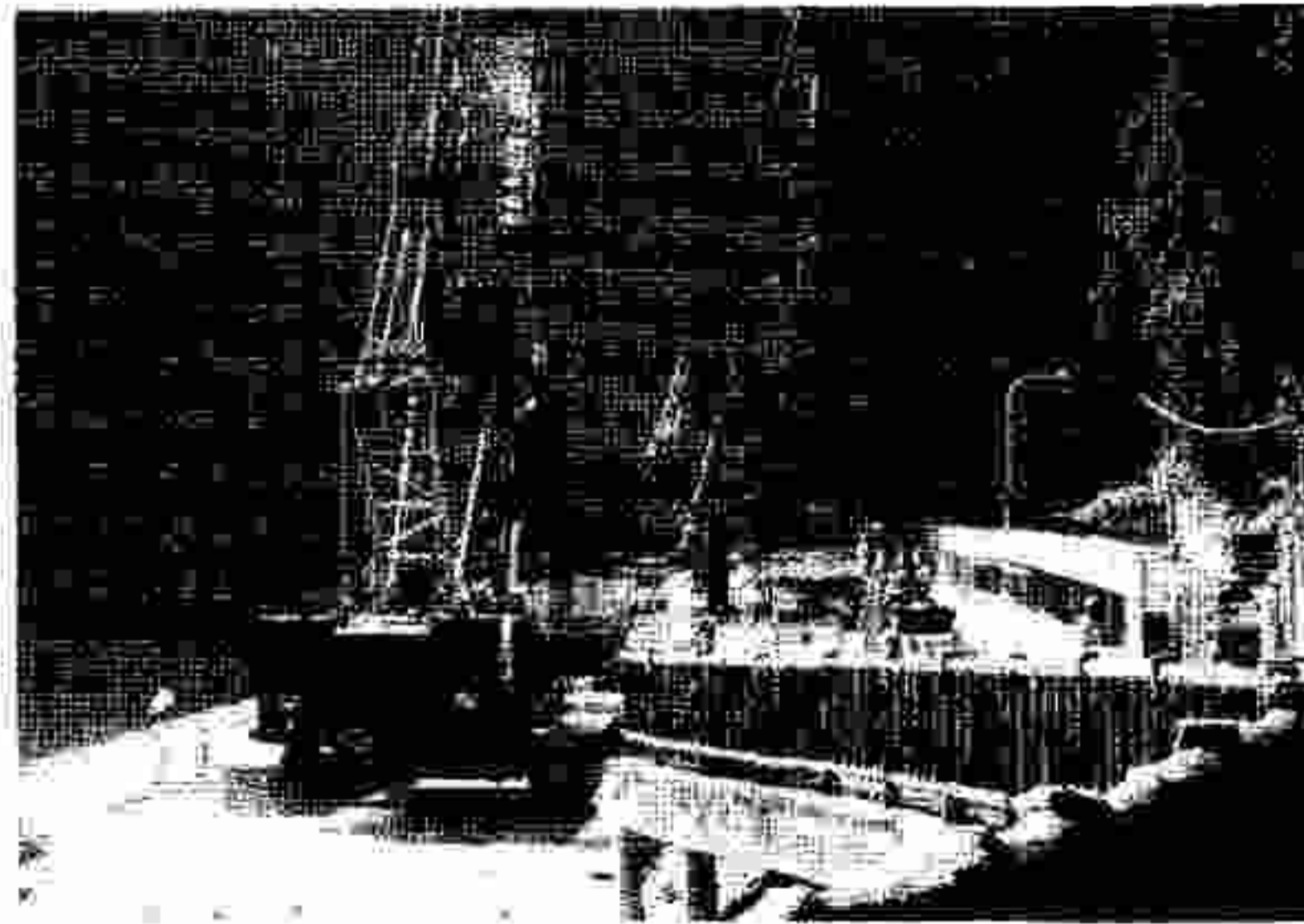
4. ホームページ分科会 2回 (継続)
平成16年8月27日～平成16年11月26日
内容の審議

広報活動

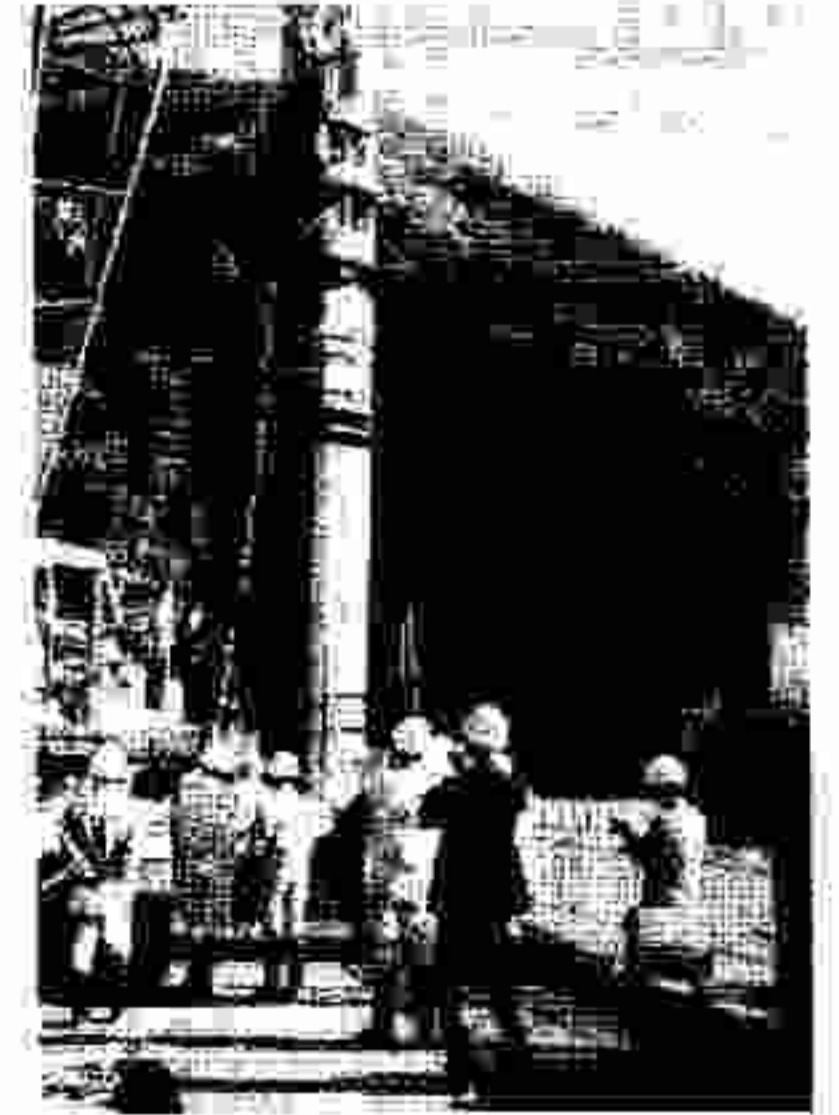
- ・広告1回
「基礎工」平成16年10月特集号
(東海・北陸地方の地盤特性と工事例)
- ・協会ニュース 1回 第19号



工事風景



工事風景



工事風景

工法・新製品紹介

多目的掘削機+低空頭軽量型ケーシング掘削機

日車アースドライバー EDH-11 + 全回転オールケーシング掘削機 RT-200L

1. 日車アースドライバー (EDH-11)

当機は、アース軸掘・掘底、ケーシング掘削、スーパートップ (RT-200L) との併用作業・ハンマーグラブ掘削、クレーン作業 (最大定格荷量7.2t吊り)、揺動機との併用作業 (油圧源の取出し付) 等、多目的作業が可能な掘削機として開発・商品化しました。

今後増加すると予測される都市部の特に狭隘地再開発において、機材搬入から、障害の撤去、アース杭造成、機材搬出までの基礎工事に関わる仕事を、一貫して施工可能な多目的掘削機です。

ケリードライブの昇降は、ラック&ピニオン式を採用、回転トルクは、最大105.5kN・mでSL制御により50%～100%の間でトルク、回転数が任意に設定できます。

RT-200Lとの併用作業では、次の杭芯へ移動させる際、RT-200Lを持ち抱えて自走出来るので、相伴クレーンが不要になります。

2. 全回転オールケーシング掘削機 (RT-200L)

当機は、低空頭、軽量型のスーパートップ機として、狭隘地や橋桁下、高架下等の現場施工、および、EDH-11との

行事

・見学会 1回

平成16年10月20日 参加者23名
秩父湖東湖岸、麻生地すべり対策工事、鋼管杭抑止杭工 (国土交通省関東地方設備局・西松建設株式会社) の見学

・秩父湖東湖岸、麻生地すべり対策工事現場見学会

10月20日、23名の会員が参加して、現場見学会が開催されました。この有益な場をご提供くださった、国土交通省関東地方設備局および西松建設株式会社麻生出張所の皆さまに厚くお礼を申し上げます。

本見学会は、秩父湖東湖岸、麻生地すべり対策工事、鋼管杭抑止杭工 (鋼管杭φ1200mm、本数61本、杭長19.0～46.5m、施工足場作業構台上) 掘削現場を見学させていただきました。

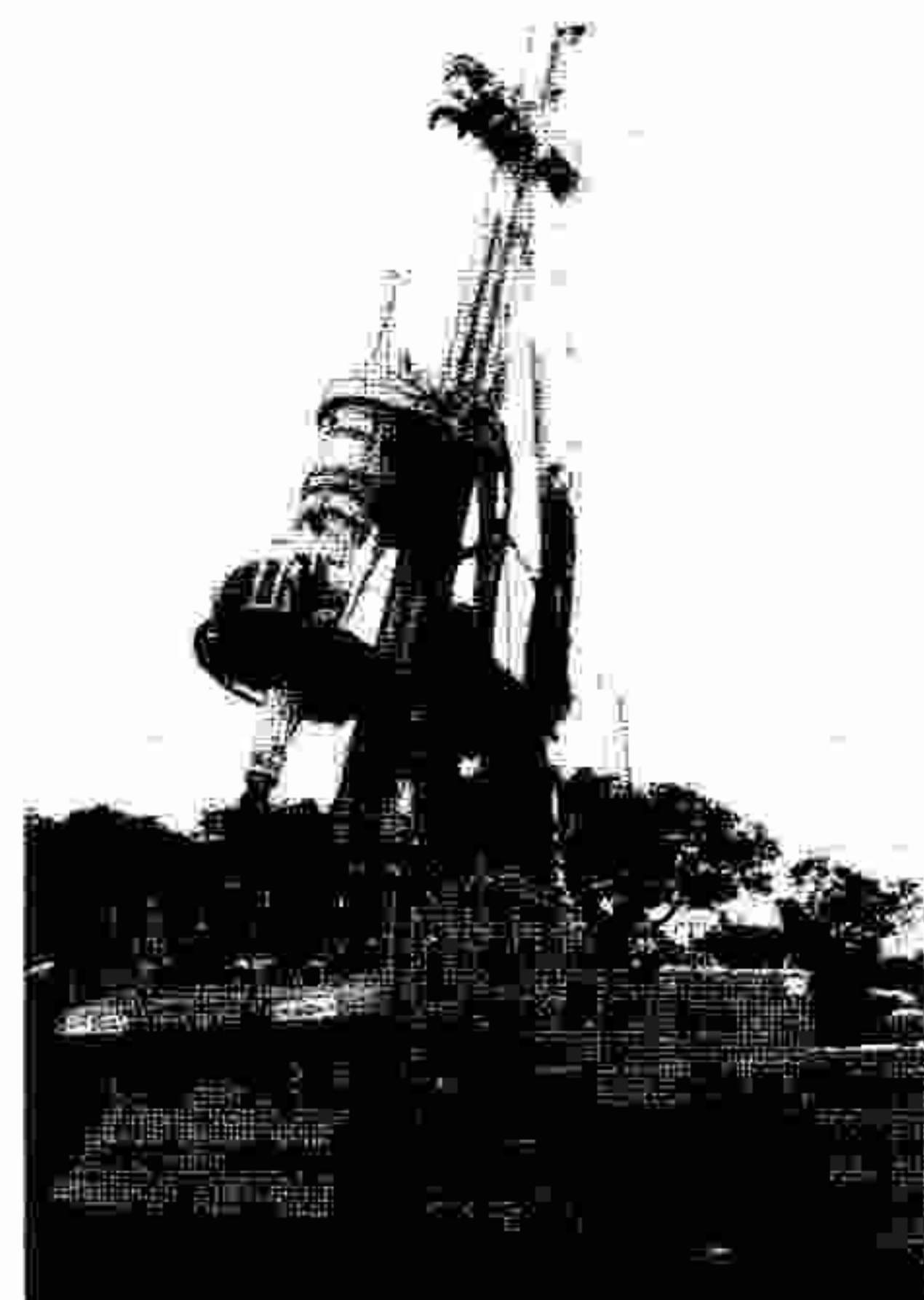
併用作業を目的に開発しました。

本体のみの重量が18.5t (RT-200AⅢに比べ11.5t軽量) と軽量ながら、回転トルクは最大1540kN・m (RT-200AⅢは2170kN・m) と充分に必要な能力を持っています。

デッキ面高さは1536mm (RT-200AⅢに比べ580mm低い) と低空頭ながら、サブデッキを外せば壁際1300mmに杭施工可能なコンパクト設計となっています。

さらに、オプションでサブチャック (保持可能質量50t) も装備可能ですので、狭隘地や橋桁下、高架下等の現場に最適です。もちろん、相伴クレーンの小型化、輸送負荷低減等、施工費の削減にも寄与するでしょう。

(日本車輛製造 (株) 山本忠男)



(RT-200LをEDH-11で抱えて移動中)